

日にあらたに



札幌市立日章中学校
学校便り 第 509 号
令和 8 年 6 月 18 日発行
TEL831-6196 FAX831-2754
<https://www.nissho-j.sapporo-c.ed.jp>

◇ 2 学年旅行的行事 〈宿泊学習〉

『校外こそ大事な生活の 3 本柱』

学年委員長

宿泊学習先でも、生活の 3 本柱である、時間を守る、身なりを整える、正しい言葉遣いなどを意識してほしいです。普段学校でできていることを、学校の外に出ると気持ちが浮ついてしまいできないことがあるのではないのでしょうか？普段の学校生活だけやるのではなく、しっかりと、学校の外でも行えるようにしましょう。宿泊学習だからこそ考えることができる大切なことだと思います。なのでしっかりと、学校の外であることを意識し、生活の 3 本柱を、宿泊学習先でも頑張してほしいです。そうすることで、みんなが楽しめる宿泊学習につながるのではないのでしょうか？

＜宿泊学習を振り返って＞

『 私は今回の宿泊学習学んだこと 』

2 年生代表

旭山動物園では、動物の特徴や行動を間近で観察できて、生き物の大切さについて考えることができました。アートホテル旭川では、友達と協力して生活しました。部屋では、ハプニングもありましたが、仲良く過ごしたりすることで集団生活の大切さを学ぶのと同時に友達との会話や食事も楽しく、かけがえのない思い出になりました。植松電機では、社長さんの話がとても印象に残りました。「どうせ無理」という言葉をなくし、夢に向かって挑戦することの大切さを学びました。話を聞いて、とても今の自分を考えさせられ、心に刺さりました。今、部活でなかなか上手いいかない中、僕はプレッシャーと緊張感などに悩まされていましたが、植松さんのおかげで失敗を恐れずに挑戦しようと思いました。今回の宿泊学習を通して、仲間と協力することや、挑戦することの大切さを学ぶことができました。この経験をこれからの学校生活にも生かしていきたいです。

『 宿泊学習を終えて 』

2 年生代表生徒

今回の宿泊学習では普段は学ぶことのできないことを学べたり、いつもの何倍もみんなと仲良く楽しいレクをすることができ、最高の宿泊学習でした。印象に残っているのは、旭山動物園です。なぜなら、しおりにあるクイズに正解するためにみんなでいろんなところをまわり、「ここにあった！」などと協力して行うことができ、班で団結することができたからです。これからもみんなで最高の中学校生活をおくれるように仲間と団結していきたいです。

『 理想 』

2 年生代表生徒

私は今回の宿泊学習で、自分自身の変化と環境の変化を実感することができました。昔から班などの集団行動が苦手でしたが、中学 1 年での現地学習、そして今回の宿泊学習を経て、周りを見て合わせる大切さを知りました。この経験を活かし、これから進学して環境が変わっても、周囲と歩調を合わせ、自分のやるべきことをしっかりと行いたいです。こうした当たり前のことができる人こそが行事や活動の成功に貢献できると考えます。これからは、環境の変化に合わせて自分自身を変革していくことを、理想の自分を目指して常にレベルアップできるよう頑張っていきたいです。

『 宿泊学習で学んだこと 』

2 年生代表生徒

私は宿泊学習で、マナーを考えて行動することの大切さを学びました。マナーが悪いと、それだけで第一印象が決まってしまう、自分が困ったときにも周囲に相手にされず、自分の居場所をなくしてしまうと考えたからです。そこで私は、普段から大きな声で話しているときでも、周囲に人がいる場所では声を小さくしたり、歩行者が来たら自分から先に道を譲ったりと、自分なりに考えて行動してみました。しかし、ホテルでの自由時間には、つい楽しくなって声が大きくなったり、誰かにぶつかってしまったたりすることがありました。これからはどんなに楽しんでいるときでも、気を緩めずに落ち着いて行動できるようになりたいです。

『 宿泊学習の思い出 』

2 年生代表生徒

旭山動物園で一番印象的だった動物はカピバラです。実際に見たカピバラは家の犬より可愛かったです。お母さんが作ってくれたお弁当も美味しかったです。

植松電機で、ネオアームストロングアームストロングサイクロンジェットアームストロング砲を作りました。すごく飛んで嬉しかったです。



◇ 1 学年旅行的行事 〈現地学習〉

『 現地学習に向けて 』

実行委員長

5 月 29 日は皆さんが励み合い、助け合って準備してきた現地学習です。皆さんどの班も色々な準備をしてきたでしょう。各係の皆さんも、一つ一つ細かいところまで生徒がより良い現地学習に参加できるよう取り組んできたと思います。

そこで、皆さんに学年目標「トモダチコレクション」の大事な 2 つの意味、意識してほしいことがあります。それは、あまり仲が良くない人とも楽しく行動し、そして時にはみんなで協力してはげまし合う事です。そしてこれに欠かせないのが係、委員会の皆さんの動きで、総務係、班長の点呼、整列や、保体系の安全確認が重要になってきます。

他にも生徒会役員の皆さんが作った、「自分も HAPPY 皆も HAPPY」の目標で、自分だけではなく皆のことを考えなければいけません。これはとても難しいことですが、一人一人が考え、行動すれば自由な時間も増え、皆 HAPPY になれると考えているので、率先して動いてみてほしいです。

最後に、一般利用者や他の学校の生徒に迷惑のかからないようにしましょう。そして遊びではないことを意識して現地学習に皆で挑みましょう。

〈現地学習を振り返って〉

『 現地学習から学んだこと 』

1 年生代表生徒

今回の現地学習を通じて、学年全体がレベルアップできたと思います。現地学習に行くまでの準備や、当日の班での行動を経験して、みんなで協力し合うことの大切さを学ぶことができ、より仲が深まったと思います。一方で、僕の班は開拓の村で集合時間ぎりぎりの到着になってしまったので、これからは5分前行動を心がけたいです。これらの学びを今後の学校生活に活かしていきたいです。

『 現地学習で学べたこと 』

1 年生代表生徒

今回の現地学習では、事前に立てた仮説の結論を自分たちで実際に確認できて本当に意味のある現地学習にできたなと思いました。そして私にとって、この現地学習では仮説の結論だけでなく、友達と協力することの大切さも知ることができました。班の中で大変な仕事を班長に任せすぎちゃったことが良くなかったと思ったので協力することは本当に大切なことだと気付きました。事後学習では、一人ひとりが自分の役割をしっかり達成するために、まずは自分が一生懸命やって、班の中で困っている人がいたら助けたり、班長のサポートもしてみんなで協力できたらいいなと思います。そして今後の学校生活では現地学習で学んだことを活かして生活できるようにします。

『 現地学習を終えて 』

1 年生代表生徒

開拓の村と北海道博物館に行って昔の建物や昔の北海道について、実際に見ることで普段の授業ではわからないことを知ることができてとても勉強になりました。係の仕事では集会の司会やバス内での朝学活、帰り学活など前に立つ機会が多く新しい経験ができました。班研修では班長としてみんなを率先して引っ張ることができたと思いますがもう少しまとまりのある行動をしたほうがもっとみんなの迷惑にならなくて良かったのかなと思います。

『 メリハリをつけて、全力で楽しんだ一日 』

1年生代表生徒

初めての場所で、初めて知ったこともたくさんあって、すごく楽しかったです。他の班より時間に余裕がもてたし、チェックポイントにもしっかり通れたので、しっかりするときはしっかり、楽しむときは、全力で、かできて、きりかえかよくできたと思います。

疑問に思ったことをメモしたり写真をたくさん撮ったりしたから、事後学習でもすごく生かせると思います。

『 現地学習を終えて、学んだこと 』

1年生代表生徒

今回の現地学習では、事前に係活動を決め、やることの方担をしました。当日は開拓の村や北海道博物館での活動で、それぞれの係活動をしっかりとすることができたと思います。個人的には、歴史のことをたくさん学べて嬉しかったです。みんなも楽しくできたと思います。

1分前着席など、まだまだ学校生活でできていないことがありますので、この経験を生かして、今後の学校生活を楽しく送りたいです。

